



# ベビーかろーれ川越だより 8月号

認定 NPO 法人カローレ  
事業所内保育事業所



## ベビーかろーれ川越

TEL 049-230-6010

連日の猛暑が続き、とうとう本格的な夏の到来です。先月からプールが始まり子どもたちはプール・水遊びを満喫し、涼を楽しんでいます。ほし・たいよう組は、たらいで水遊び！自ら進んでたらいに入り水遊びを楽しんでいます。にじ組は初めてのプールに大興奮♪ジョーロで遊んだり、水をかけあってとても嬉しそう♡水が苦手な子も自分から水に触れられたり、水がかかってもへっちゃらになったりと頼もしい姿が見られるようになるといいなと思っています。

また、今月は待ちに待った夏祭り！保護者の方も一緒に楽しんで頂きたいと思います。

### 【子どもたちの様子】

🌈にじ(2歳児)……もうすぐ夏祭り！！先週は本番と同じように子どもたちがお店屋さん、保育士がお客さんとなり、「いらっしゃいませー」の練習をおこないました。テーブルに自分たちの作った品物が並ぶと目を輝かせながら「はやくやりたーい」との声もあがりました。1人ひとりの担当の店を発表すると、どの子も嬉しそうに店番となり、「いらっしゃいませ」の掛け声がとても上手でした。今から夏まつりが楽しみです！午後は、にじ組さんのおみこしもあるので楽しみにしててください♡

☀️・😊ほし組(0歳児)・たいよう組(1歳児)

はじめのうちは足がすくんでいた水遊びですが、今では水しぶきを浴びて元気いっぱいほし・たいようさん♪カップやジョウロ、ペットボトルにお水を入れては流したり入れ替えたりミストシャワーを浴びて目を細めたり、水の気持ちよさを楽しんでいます。

朝の自由遊びの後、お片付けをして手洗い、おやつ、という流れもわかってきて、自分から移動できるようになっています。お友だちを嬉しそうに見たり、ちゃんとさわってみたり、お友だちが持っている玩具をとったりとられたりしても、ポカンとわからなかったり～ かわいい関りの今後が楽しみです。



### ☆☆8月の予定☆☆

2日(金)	夏祭り
7日・21日(水)	英語の時間
19日(月)～	身体測定
下旬	避難訓練

## あたらしいおともだち

7月

I・S くん(1歳児)

どうぞ、よろしくお願ひします♪



## 今月のうた♪おばけなんてないさ

1. おばけなんてないさ おばけなんてうそさ  
ねぼけたひとが みまちがえたのさ  
だけどちょっと だけどちょっと  
ぼくだってこわいな  
おばけなんてないさ おばけなんてうそさ
2. ほんとおばけが でてきたらどうしよう  
れいぞうこにいれて カチカチにしちゃおう  
だけどちょっと だけどちょっと  
ぼくだって こわいな  
おばけなんてないさ おばけなんてうそさ



子どもたちの大好きな曲です♡是非お家で歌ってみてください！

## 夏祭りのお知らせ



【日時】 8月2日（金）

【時間】 16時～（保護者参加）



日中は、竹太鼓演奏、にじ組(2歳児)がお店屋さんになって夏祭りを楽しみます。

夕方は、保護者の方と出し物をまわって頂き解散となります。

詳細は別途夏祭りのお知らせをご覧ください。

夏祭り当日は、連絡帳の記入はありません。コドモンにてお知らせいたします。



※夏の暑さは、乳幼児にとってはとても厳しく、体調不良の原因の一つです。疲れないように、体をしっかりと休ませてあげましょう。元気そうに見えても、疲れは蓄積されているため、大人がしっかり体調管理をしていく必要があります。

### ※プールカードについて

毎日記入をお願い致します。記入がないとプール遊びはできません。また、プール×でも水遊び（たらいの外側から参加）はしますので、体調不良の場合は家庭保育のご協力をお願い致します。

### ※保育時間について※

ご家族のどなたかが仕事がお休みの場合の保育時間は、8:30～16:30 ですのでご協力をお願いいたします。また、仕事のお休みの旨を連絡帳か、保育士にお知らせください、原則、保育中の緊急連絡先は職場となっております。

### ※9:00までに登園してください※

9時を過ぎての登園は気持ちの切り替えが難しく、スムーズに活動に入れないことがあります。やむを得ず、遅くなる場合は、8:30までにご連絡をお願いします。

### ※持ち物について※

保育園に必要なおもちゃなど、基本持たせないようにお願いします。子どもの気持ちの切り替えが難しくなる場合があることや、他のお友だちがそのおもちゃなどが気になってしまうことがあります。

### ※保育園でお子様をお預かりするタイミング※

登園時…お子様と一緒に荷物をロッカーに入れてからにしましょう。  
降園時…お子様を引き取って、一緒に帰りの準備をしましょう。

一緒に荷物を確認することで、子どもたちも自分の荷物がわかるようになります。